

第164回

岩手朝日テレビ放送番組審議会

議 事 録

(平成25年1月)

2013.1.30

株式会社 岩手朝日テレビ

## 第164回 放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成 25年 1月30日 (木) 16時～
2. 開催場所 ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
3. 委員の出席

委員総数 7名

出席委員数 5名

委員 長	村 田 久
委員	そのだ つくし
委員	田 口 幸 雄
委員	大見山 俊雄
委員	島 山 さゆり

欠席委員数 2名

委員	小 松 豊
委員	小田島 利 昭

会社側出席者名

代表取締役社長	富 永 健 治
取締役報道担当	小 椋 和 雄
取締役	長 生 正 広
報道制作局部長	伊 波 伴 准
番組ディレクター	古 馬 正 人
編成業務局長兼放送番組審議会事務局長	柏 葉 智
番組審議会事務局	佐 野 尚

#### 4. 議 題

(1) 合評番組

「ふるさとCM大賞2012 in I W A T E」

放送日時 12月29日(金) 午前10時30分～11時25分

(2) 2月単発番組及び1月の視聴率について

(3) 次回審議会

開 催 日：平成25年 2月27日(金) 午前11時～

岩手朝日テレビ 3F大会議室

合評課題：「テレメンタリー2013 岐路に立つ王国～揺らぐ政界地図」

放送日時：1月5日(土) 16時55分～17時25分

#### 5. 概 要

- \* 柏葉事務局長より2月の単発番組と1月の視聴率の内容が発表された。
- \* 合評課題は12月29日放送の番組「ふるさとCM大賞2012 in I W A T E」。
- \* CM素材の秒数が例年の30秒から15秒に変わったことで、かえってCMの内容が凝縮されインパクトのある作品が増えた。
- \* CM制作の舞台裏、メイキングのシーンが番組に多く取り上げられていて、番組に厚みを感じられ楽しめた。
- \* 沿岸の市町村からも多くの参加があり、CMの内容から復興へ向けた熱意が強く感じられた。
- \* 会場の観客席に空席が目立ち寂しい感じを受けた。各市町村の担当者が座っているため仕方がない部分もあるが、工夫をして解決してほしい。

## 6. 議事の内容

柏葉事務局長        それでは、只今より、第164回岩手朝日テレビ放送番組審議会を始めます。それでは村田先生、議事をよろしく願います。

村田委員長        今年初めての番組審議会になります。今年は寒く雪も多いので、健康には十分気を付けたいものです。それでは富永社長、一言お願いします。

富永社長        委員長及び委員のみなさま、今年も1年宜しく願います。

      去年のテレビ業界の話題は、テレビ朝日の躍進とフジテレビの凋落でした。以前も話しましたが、2004～2010年までの7年間、視聴率3冠を取り続けていたフジテレビが2011年に日本テレビにその座を奪われました。去年の2012年、出だしは日本テレビが好調でしたが、4月改編から流れが変わりテレビ朝日が好調となり、フジテレビが視聴率を大きく落とすような形になりました。テレビ朝日は4月の月間で開局初となる3冠（プライム2を入れると4冠）を取ることが出来ました。年間視聴率でテレビ朝日は開局初となるプライム1位を獲得しました。ゴールデンは2位でしたが、フジテレビに対し大きく水をあける形になりました。

      IATもその勢いに乗り10～12月の10月クールは開局以来初となるゴールデン・プライム2冠（プライム2を入れると3冠）を取ることが出来ました。今年に入りまして1月はゴールデン・プライムいずれも2位（プライム2は1位）とめんこいテレビを大きく引き離して、好調なスタートが切れました。IATは目標である全日2位はもちろんのこと、全ての部門で2位を取りトップを目指せるところまで行きたいと考えています。

      報道と番組制作では、今年で2年となる東日本大震災を前に3月10日にはテレビ朝日系列の4時間特別番組、そのうち30分ほどをIATが制作します。3月11日は3時間のANN特番、これも沿岸2カ所から中継することになっています。それに引き続きネットニュースを挟んでローカル特番を編成します。

IATはこれからも岩手や被災者の復興の取材を続けていきたいと考えています。また4月から夕方のスーパーJチャンネルをタイトル・内容を一新してより視聴者に見てもらえるように強化していきたいと考えています。今年1年はIAT飛躍の年と考えて、これまで以上に頑張ってお参りますのでご期待ください。

村田委員長)

ありがとうございました。新番組も始まりまして、「おトメさん」も評判がいいようですね。何か質問かご意見はございますか？ 無ければ、事務局から2月単発番組と1月視聴率の説明をお願いします。

柏葉事務局長

では、2月の単発番組と1月の視聴率についてお手元の資料によりご説明させていただきます。

まず、2月の単発番組です。2月1日からテレビ朝日は開局55周年記念期間をスタートいたします。その記念番組として、2日(土)・3日(日)21:00から「テレビ朝日開局55周年二夜連続ドラマスペシャル 最も遠い銀河」をお送りします。大ベストセラーとなった「天国への階段」の作者・白川道(とおる)氏の長編小説「最も遠い銀河」を2夜連続ドラマスペシャルとして待望の映像化したものです。

韓国、小樽などでのロケーションに三浦友和、伊藤英明、蒼井優をはじめとする豪華キャストを起用し、スケールの大きな重厚な人間ドラマをサスペンスフルに描いていきます。

9日(土)21:00からは「テレビ朝日開局55周年 ドラマスペシャル 上意討ち(じょういうち) 拝領妻始末(はいりょうつましまつ)」をお送りします。

「上意討ち～拝領妻始末」は、「七人の侍」「羅生門」などの黒澤映画をはじめ、日本映画に偉大なる足跡を残す脚本家・橋本忍氏が、滝口康彦氏原作の人間ドラマに、活劇をふんだんに盛り込んだ超大作時代劇スペシャルです。田村正和、仲間由紀恵ら豪華キャストでお送りします。

そして、17日(日)21:00からは「ドラマスペシャル 必殺仕事人2013」を23日(土)16:00からは「東北ふるさとCMフェスティバル2013」をお送りします。「東北ふるさとCMフェスティバル」は、東北各県のふるさとCM大賞の最優秀作品を一般公開するイベントで、今回で6回目となります。岩手からは久慈市の「宝・くじ」が参加します。

次に2月のスポーツ単発です。

23日(土)18:30から「ワールドベースボールクラシック 代表壮行試合 日本 vs オーストラリア」を、26日(火)19:04からは「ワールドベースボールクラシック 強化試合 日本 vs 阪神」をお送りします。

3月2日から始まるワールドベースボールクラシック3連覇に向けて侍ジャパンの戦いが始まります。

次に、1月の視聴率についてです。

ご覧のように全日 8.3%、ゴールデン 13.5%、プライム 13.0%、プライム2 7.9%となり、全日、ゴールデン、プライムとも2位を獲得しました。また、プライム2は45か月連続1位を継続中です。

1月は、御覧のように2時間スペシャル、3時間スペシャルの多い週でしたが、14日(月)19:00からの「お試しかっ!3時間スペシャル」が16.1%、8日(火)19:00からの「家庭の医学3時間スペシャル」が16.6%、12日・19日(土)19:00からの「関ジャニの仕分けエイト 2時間スペシャル」がそれぞれ18.0%、18.6%と高視聴率を上げ、また、ドラマ「相棒11」が21.1%、1月スタートドラマ「科捜研の女」、「おトメさん」もそれぞれ15.8%、16.4%と高視聴率でスタートすることが出来たおかげで、ゴールデン・プライムいずれも2位を獲得できました。また、平日13:55からの2時間のサスペンスドラマ傑作ワイド劇場が平均9.3%と好調に推移し、さらに1月も「相棒月間」を実施し、平日15:59からのドラマ名作選「相棒5」が平均13.0%と高視聴率となり、全日視聴率2位に大きく貢献しました。2月の単発と1月の視聴率については以上でございます。

村田委員長

何か質問・意見などございませんでしょうか。それでは合評課題への意見をお願いします。

畠山委員

CMを30秒から15秒にすることで、15秒の中に詰め込むのは大変かと思いましたが、珠玉の作品が多く感じられました。

ただ、観客席が映ると市町村のみなさんがバラバラに座っているのか、まばらに見えさみしく感じました。詰めて座れば賑わっているように見えるのかと。優勝した久慈市の宝くじは断トツに良かったです。アイデアも斬新で、次回の作品

を考える時が大変じゃないかと。北上市の作品も高校生の感性がすごく良かったです。高校生の郷土愛が15秒のCMの中に詰まっていた。通常ならCMは自治体の担当者が制作するパターンが多いが、北上市のように若い人に作らせながら地域を巻き込むことも一つの手かと思います。次回は中学生か小学生に作らせるのもおもしろいかなと。30秒のCMはそれはそれで楽しめたが、番組全体を見ると15秒でも意外と理解できるなど実感しました。

田口委員)

期待以上の番組内容でした。短い時間で内容を十分にアピールするものを作るのは非常に難しいと考えました。そういった感覚から斬新なCMはそう出ないだろうと思っていましたが予想外でした。興味を引く作品が多く楽しめました。

畠山委員も言っていましたが、30秒から15秒に時間が短くなることは大きいことで、制作した人たちの苦労が伺えました。強いて言うならば、司会の2人の服装が仰々しく見え、観客の人たちとのギャップを感じました。CMでは普代村の笑顔が良かったです。

つのだ委員)

審査員として半日ほど収録現場にいました。司会の山本監督の話が長く少々疲れしました。

番組ですが、それぞれのポイントに文字スーパーが入っていて、見ても楽しかったし、当日の収録現場では見られなかった制作秘話的シーンも見ることが出来て、飽きずに見ることが出来ました。司会の2人の服装は丹野アナのドレスが立派だったせいか、山本監督が小さく見えたように感じました。同じ審査員で田畑ヨシさん(津波の語り部)が映っているところが少なかったが、コメントが立派だったのが印象的でした。

大見山委員)

震災で被害を受けた市町村のCMを見たが、元気でがんばっているといった印象がストレートに伝わってきました。審査員のコメントにはそれぞれ特徴があり、バックグラウンドが垣間見え楽しめました。審査員にCMディレクターの方がいましたが、コメント内容が普通だったので、もう少しプロの内容でも良かったと思いました。

地域の元気な姿を伝えるのもこの番組のポイントだと思いますが、2点ほどそぐわないシーンがありました。1つは観客席に空席が目立ち元気のなさを感じました。もう1つは山本監督の話が長かったという意見が出ましたが、私は山本監督を見て声が小さく元気がないように見えました。声が小さいせいか語尾がほとんど聞き取れませんでした。そのあたりは番組編集の中で技術的ケアが出来なかったのか。その2点が気になりました。

村田委員長)

CMが30秒から15秒に変わったことでいろいろな問題が出たと思います。みなさんの意見を聞くと概ね良かったようです。丹野アナの服装が少し派手ではという意見が出ましたが、私はかえって良かったと思います。CMが30秒から15秒になったことでテンポが速くなったことや緊張感のある番組になったと思います。30秒と15秒の違いが大きいことを改めて感じました。15秒の中でいかにインパクトのあるCMを作ろうとすると、収録の苦労や工夫があると思います。CMが15秒になったおかげで番組の内容について裏方のシーンが多くなりました。むしろそのシーンが本番のCMを興味深いものにしていきます。例えば地域のコミュニケーションとか子供と大人の絆とか。33市町村中27市町村の参加は、震災後という状況において賞賛すべきものです。特に被災地である沿岸市町村の頑張り、熱意が今回すごく伝わってきました。陸前高田・宮古・普代・田野畑・久慈・釜石・洋野など10ある賞の内、5つは沿岸地域が受賞しました。復興へ向けて頑張ろうという意気込みを感じました。そういう意味でもこのCM大賞は、沿岸地域を元気づけることに一役買ったようです。

そして審査員・田畑ヨシさんですが、コメントは心が温まる勇気づけられるコメントでした。会場にいた人もテレビを見た人も感動を覚えたのではないかと。審査員への田畑さんの起用、拍手を送っても良い気がします。

司会を務めた山本監督の元気のなさは私も感じました。何となく物静かな感じで、もっと元気があっても良かった。監督をフォローしていた丹野アナウンサーの存在は控えめで良かった。今回のように震災後のふるさとCM大賞は復興につながる番組だったのではないかと考えます。参加市町村を増やしてこの勢いを来年につなげてほしい。全市町村参加してもらえば、一つの看板番組になっていくと思います。

伊波  
報道制作部長)

貴重なご意見ありがとうございます。この番組の良さは市町村のみなさんの頑張りがあるからこそだと思います。私たちはそれを取りまとめただけですので、参加した市町村に感謝しています。

番組の制作は会場のイベント部分を番組にどう反映させるか、両立させるかが毎年のテーマになっています。今年を担当ディレクターの古馬が演出を考えた際、CM制作の背景を伝えた方が面白いだろうということで、例年の番組から内容を大きく変えてみました。特に久慈市の作品はおじさんのお腹目がけてのやりとりだとか、花巻市の帽子をひっかけるシーンも実は何回も取り直したことだとかは、私たちがカメラを回して撮ったシーンもありますし、市町村の担当者が撮りためていて、映像に使用したものもあります。そういった部分が市町村の良さを伝えることになりました。一方でみなさんからご意見があった衣装や観客席については、次回の課題としていきます。

それと審査員ですが、その年に注目された人を選びようとしています。田畑ヨシさんの審査員は報道制作局長の佐々木がぜひにと推薦して実現しました。田畑さんは高齢だったので私も心配しましたがそれが杞憂に過ぎなく、コメントがとても的確だったと感じています。今後もみなさんの期待に応えられるよう頑張っていきたいです。

古馬D)

今回の番組を担当した古馬と申します。CMが15秒になったということで、収録前から撮影風景や苦労話が番組内にほしいと考えていました。私は5カ所ほど撮影風景の収録に行きました。現場に行くと市町村のみなさんがいろいろ苦労して撮影しているのがよく分かりました。「30秒だと時間がかかるけど楽、なぜ15秒にしたのですか」と言った担当者もいました。15秒のCMは何も知らない人には簡単だと思うかもしれませんが、実際制作に携わるとハードルが上がったと感じるようです。そういう部分を放送に反映させたいと思ったので、CMの完成品とは別に制作側の苦労している部分を入れて番組に厚みを持たせたいと考えました。メイキング自体は参加市町村を全部、少しずつでも入れたかったが、11市町村しか入れられなかったのが、今回はもう少し入れてみたいと思います。ありがとうございました。

大見山委員) 観客席が空席になるのは、各市町村で出入りする人がいるからですか？

古馬D) CMが紹介される次の4市町村ほどの担当者が着替えなど準備をするため、ステージ裏に回ります。

大見山委員) 観客と市町村の担当者が同じだから、どうしても出番前に席を空けてしまうのではないか。なんとか工夫して席が埋まっているように演出できないか？観客席に一般客はいないのですか？

柏葉事務局長) 市町村の担当者やその関係者の方々です。

村田委員長) せっかく市町村の担当者が来ているのなら、会場近くで産直コーナーでも開けば一般客も集まるのではないか？人が集められる企画を別に設けてはいかがですか？

伊波  
報道制作部長) 検討してみます。

村田委員長) その他何かご意見はありますか。なければ次回の説明をお願いします。

柏葉事務局長) 次回について説明します。次回の番組審議会は2月27日午前11時から弊社3F大会議室で開催します。合評課題は今月5日午後4時55分放送しましたテレメンタリー「岐路に立つ王国～揺らぐ政界地図」を合評課題とさせていただきます。本日は皆さまのお手本にDVDをご用意しておりますので、ぜひご覧になって貴重なご意見をお願いしたいと思います。DVDですが皆さまのDVDプレーヤーでご覧になれないという場合は事務局にご連絡ください。以上です。

村田委員長) ありがとうございます。

7. 審議機関の答申または改善意見に対して措置

ご指摘頂いた点を、今後の番組作りの参考とすることとした。

8. 審議機関の答申または意見の概要の公表

朝日新聞岩手県版に審議概要を掲載。

系列各局に議事録を送付。

本社受付に議事録を常備、閲覧に供す。

インターネットホームページに掲載。

9. その他の参考事項

特になし

10. 配布資料

◎ 2月単発番組編成予定表

◎ 1月岩手地区視聴率